

R2年度 第2学期始業式式辞 R2年8月17日(月)

「今日を迎えるに当たり、津商の生徒全員が命に関わるような大きな事件・事故に遭うこともなく2学期始業式を迎えることができたことを皆さんと共に喜びたいと思います。短かったですがこの夏休み、有意義な時間となったでしょうか？」

振り返ってみると我々は多くのものを失ってきました。音楽祭、美作総体、県総体、インターハイ…。感染症の状況を考えるとこれからの2学期も厳しい決断をしていくことになると思います。しかし、終業式でも申しましたが、もっとも大切な「仲間」や「支えてくれる人たち」を失ったわけではありません。その人たちと共にこれからも私たちは力強く歩んで行きたいと思います。

さらにこのことを深く考えると、失った部活動の発表の機会や音楽祭などの学校行事の本質は「学び」であり、大切な「成長」の機会であったということがわかります。「学び」や「成長」の機会は別の場面に置き換えることもできるはずですが、また、失ったものに対する「苦しみ」や「我慢」は絶対に私たち自身の成長へもつながっているはずですが、厳しさは私たちを育ててくれるものだとも思います。成長した心で工夫しましょう。こういう場合はどうするか「自分でしっかりと考え、判断し、行動することが大切」です。その時「どういう人間になりたいか」です。これからも感染症対策そして熱中症対策を徹底しながら、前に進んで行きましょう。

「さて、いよいよ、最も充実した学校生活を創り上げる2学期です。特に3年生はラスト6ヶ月となります。皆さんにとっては、津商卒業後の次のステージを決める大切な時期でもあります。それぞれの「目標」を見据えた進路を決めるためにも、この時間を大切に過ごしてもらいたいと思います。

3年生をお願いします。「今頑張っている人の支えになってください。小さなことでも良いのです。休まない。授業を真剣に受ける。当たり前なこと、そして、少しの頑張りでできることはあるはずですが、仲間のために雰囲気をつくってください。何か大きなことを残すのではなく、残された日々を大切に、精一杯、心を込めて過ごしていくことが、重要だと思います。そして、その姿勢が1・2年生の後輩への模範となり、津商のよりよい校風、伝統として引き継がれていくこととなります。是非、君たち先輩の頼りになる大きな背中を後輩たちに見せてください。自分に負けず、学年目標「自己実現」 よろしくをお願いします。

2年生をお願いします。君たちは残念ながらよく「中だるみの学年」と言われます。特にこの2学期の中間考査は成績が下降するとも言われています。さらに、いろいろな行事や検定、課題に追われ、大変忙しい時期でもあります。でも、くじけないでください。君たちのそばには、必ず仲間がいます。一緒に壁を乗り越えてください。そして、人間は忙しいときにこそ成長するものだと言うことも覚えておいてください。「中だるみの学年とは言わせない」「もっとも充実した学年にする」これこそが津商2年生です。学年目標「知行合一」 自己管理・マナーの徹底・挑戦 よろしくをお願いします。

1年生をお願いします。スタートは厳しいものがありましたが、やっと、津山商業に慣れてきた頃だと思います。慣れることは悪いことだと思いません。良くないのは、慣れることによる油断です。もう一度入学したときの気持ちや目標を思い出してください。「初心忘るべからず。」そして、学年目標「定着」 挨拶・期限内提出・家庭学習・基本的な生活習慣・礼儀などの定着よろしくをお願いします。

最後に、君たちが悩み工夫した特別な自彊祭が始まります。テーマは「君と一緒に ～It's 笑 time.～」です。いいテーマだと思います。これから色々と準備等で忙しくなってきます。生徒会ならびに3年生のリーダーシップのもと、全校生徒一丸となって盛り上げていきましょう。

しかし、学校行事を創り上げていく中で、しっかり考えて判断し、行動しても難しいことは次々に起こります。その時のために一つだけ覚えてください。

「ありがとう」は人と人をつなぐ接着剤であり、「我慢」は潤滑油。

「それでは、全校生徒一人ひとりがそれぞれの目標に対し、粘り強く、最後まであきらめず、悔いを残さない2学期となるようお互いに頑張りましょう。